

大会における安全管理について(第4版)

R8.5月 埼玉県高体連テニス専門部

1 落雷・豪雨等への対応

(1)前日～当日大会開始前	
委員長 運営責任者	①気象状況の事前確認 →危険が予測される場合、試合方法変更や日程変更(中止・延期)の想定を行う。 変更が必要な場合は前日に判断し、ホームページ等で連絡する。 当日会場に集合させた場合、開会式等で安全管理徹底を呼びかける。
	②避難場所の事前確認 →会場と相談のうえ避難場所を確保し、運営責任者に周知する。
(2)大会開始後	
委員長 運営責任者 各会場運営係	①気象状況の適宜確認 →危険が予測される場合、試合方法変更や日程変更(中止・延期)の判断を行う。
	②落雷・豪雨等発生 →雷鳴が聞こえた場合は躊躇なく試合を中断させ、生徒及び関係者を安全な場所 (室内の待機所が確保できることが望ましい)に避難させる。 雷鳴が収まってから30分が経過するまでは試合を再開させない。 →豪雨の場合は試合を中断させ、生徒及び関係者を安全な場所(室内の待機所が確保できることが望ましい)に避難させる。

2 熱中症対策

(1)前日～当日大会開始前	
委員長 運営責任者 各会場運営係	①気象状況の事前確認 ● <u>基準 A:【WBGT31℃】</u> を超える見込みの場合 →大会実施方法や日程の変更を検討する。必要な場合は前日にホームページ等で連絡する。 ● <u>基準 B:【WBGT33℃】</u> を超える見込みの場合(熱中症警戒アラート水準) →大会実施方法や日程の変更を検討する。全国・関東など上位につながる大会の場合、実施の可否を専門部長判断で決定する。上位につながらない大会の場合は、原則中止または延期とする。必要な場合は前日にホームページ等で連絡する。
	②関係者への事前の注意喚起 →前日の睡眠や当日の朝食・栄養補給・水分補給・帽子着用等の重要性について、専門部ホームページ等で注意喚起する。 →大会要項に熱中症対策を明記する。 →会場と事前に相談し冷房のある屋内の場所を確保する。 →熱中症予防喚起の掲示物を準備する。 →開会式等で安全管理徹底を呼びかける。
各校顧問	①気象状況の確認、専門部ホームページ等の連絡を確認 →生徒の体調チェックを行い、熱中症予防の注意喚起をする。 ②「熱中症予防体調管理シート」【様式1】の記入指導 →大会当日終了時に各校各会場1部作成し本部に提出するよう指導する。

(2)大会開始後	
委員長 運営責任者 各会場運営係	<p>①気象状況の適宜確認 本部で1時間毎に暑さ指数(WBGT)を計測^{※1}(環境省の観測データ等を参考にする場合もある)し、「WBGT実測値観測記録」【様式3】に記入する。</p> <p>●基準 A:【WBGT31℃】を超えた場合 →大会実施方法や日程の変更を検討する。</p> <p>●基準 B:【WBGT33℃】を超えた場合(熱中症警戒アラート水準) →上位につながる大会の場合、継続の可否を専門部長判断により決定する。継続する場合、<u>大会実施方法変更(試合数削減、試合方法変更、レスト確保)等の具体的な対応^{※2}を行う。</u>上位につながらない大会の場合は、原則中止または延期とする。</p> <p>●基準 C:【WBGT35℃】を超えた場合(熱中症特別警戒アラート水準) →上位につながる大会の場合でも、すみやかに中断し原則中止または延期とする。万一やむを得ず継続を検討する場合は、本部および県高体連事務局による協議のもの、専門部長(高体連会長)判断により決定する。</p> <p>②関係者の安全確保 →可能な限り生徒が待機できる日陰の待機所を確保し、特に試合間についてはレストを十分に確保させる。各会場運営係は氷や冷却剤等を常備しておく。 →応援生徒や観客に対しても、放送や掲示等で熱中症対策を呼びかける。 →ロービングアンパイア(教員の見回り)を強化する(コート毎に割り振る)。</p> <p>③生徒の安全確認(大会終了時) →「熱中症予防体調管理シート」【様式1】を回収し、内容を確認する。</p> <p>④緊急対応報告書の提出 ※必要時のみ ●特別な事情により、専門部長判断で基準 B:【WBGT33℃】を超える環境下で上位につながらない大会を実施した場合、および基準 C:【WBGT35℃】を超える環境下で上位につながる大会を実施した場合 →終了後すみやかに部長名による文書で、ア・イを県高体連事務局に提出する。 ア:緊急対応報告書【様式2】 イ:当日のWBGT実測値観測記録【様式3】</p>
各校顧問	<p>①生徒の健康チェック →適宜生徒の体調チェックを行い、熱中症予防の注意喚起をする。 →分散会場の場合、必ず生徒と連絡できる体制を整える。</p> <p>②生徒の安全確認(大会終了時) →生徒の体調チェックを行い、「熱中症予防体調管理シート」【様式1】を各校各会場1部本部に提出させる。</p>

※1 WBGT の測定方法

黒球を日射に当てる(日向で) / 地上1m程度の高さで / 壁等の近くを避ける(風が通る場所で)

※2 具体的な対応策の例(状況に応じて大会本部で決定する)

- ①試合数削減…1日に行われる最大試合数の削減(本来の予定より前のラウンドで止める)
- ②試合方法変更…【選手】ノーアドバンテージ方式、セミアドバンテージ方式等の実施
 【審判】セルフジャッジ制の実施(敗者審判を会場に残さない)
- ③レスト確保…試合間レスト時間の延長(20分以上)

3 対応および連絡体制 ※必ず委員長および運営責任者に連絡をしてください。

(1)災害(荒天・地震等)対応	
委員長 運営責任者	中止・延期・再開・代替案の採用等の決定 →各校顧問へ連絡 →必要な場合、委員長は高体連事務局に報告
(2)事故(急病者・負傷者等)対応	
委員長 運営責任者	救急搬送の必要性の決定 →医療機関へ連絡 →必要な場合、委員長は高体連事務局に報告(事故報告書・緊急対応報告書)
各校顧問	保護者連絡・各校校長連絡

4 その他

「雷探知機」10台、「WBGT測定器」10台をテニス専門部予算で購入済

- ① 雷探知機…東部地区：2／西部地区：2／南部地区：4／北部地区：2 で分配
- ② WBGT測定器…東部地区：2／西部地区：3／南部地区：3／北部地区：2 で分配